

ストーリーシートについて

「ストーリーシート」とは、我が国の歴史上の主な『文化』のつながりを点ではなく、線で理解できるようにすることを意図して作成したものです。今年度、単元「天皇中心の国づくり」の実践授業では、第10時に用いました。ここでは、本単元での言語活動の充実と、子どもたちが「平安時代におこった『日本風の文化』が現代にもつながっていること」を表出している姿を見取することを意図したものです。更に、単元「今に伝わる室町文化」の実践授業においても、第4時に「ストーリーシート」を用いた書きまとめを行いました。第4時に「ストーリーシート」での書きまとめを行った意図は二つあります。一つは、本単元の目標を達成すること、もう一つは、子どもが既習事項と関連付けて、今に伝わる文化と京都の関わりを考えることができるようにすることです。

表1 全10時間で構想した単元「天皇中心の国づくり」目標と学習活動

目 標	・大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活について遺跡や文化財、各種の資料を活用して調べ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起ったことについて考え、表現する。
時	学習活動
1	○法隆寺と聖徳太子の関連に気付き、聖徳太子の業績について調べる。
2	○中大兄皇子、中臣鎌足の業績の共通点について調べ、聖徳太子の業績と共通していることを見つける。
3	○都ははなやかににぎわったが、それを支える地方の人々の生活はたいへん厳しいものであったことに気付く。
4	○都がたびたび移されたことや全国に国分寺や奈良に大仏がつくられたことから学習問題をつくり、予想する。
5	○予想を確かめるために資料から必要な情報を収集し、事実をまとめる。
6	○大陸文化について、資料を活用して必要な情報を読み取る。
7	○貴族の生活に関わる資料から、天皇と貴族（藤原氏）が大きな力をもっていたことを理解する。
8	○日本風の文化がおこったことについて資料を使って調べ、まとめる。
9	○平安京の様子について、「古典の日記念 京都市平安京創生館」の模型や展示資料を観察し、気付いたことを観察記録カードにまとめる。
10	○天皇中心の国づくり、大陸の文化と日本風の文化についてまとめる。【「ストーリーシート」】

表2 全4時間で構想した単元「今に伝わる室町文化」目標と学習活動

目 標	・京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について各種の資料を活用したり、体験したりして調べ、今につながる室町文化が生まれたことの意味について考え、表現する。
時	学習活動
1	○室町時代に生まれた書院造について調べる。
2	○室町時代に生まれた文化について、資料から必要な情報を読み取り、まとめる。
3	○「銀閣」の庭造りについて調べる。
4	○今に伝わる文化と京都の関わりについて考える。【「ストーリーシート」】

ストーリーシートの例

単元「天皇中心の国づくり」学習のまとめ
～ストーリーシート～

名前()

○国づくりについて()に当てはまる言葉を書きなごう。
(人物名: 中大兄皇子(聖徳太子) や大化の改新によって政治の仕組みが整えられた。また、(大仏) が造られたことに(天皇) を中心とした政治が確立した。

○文化について()を3コマまんが風に絵と文でまとめよう。

「大陸風の文化」	「日本風の文化」	「そして、現代の文化は…」
大陸風の文化が日本に 入り、大陸の文化がはまる。 金籠、びわ、ガラスのコップ、 水差しはすべて大陸の 文化。	日本風の文化が生まれ、 かな文字、などができる。 そのかな文字はつかえて、 さまざま物とかいた 茶式部と清少納言。	日本風の文化と今のつながり かな文字ができて、 たくさんのお話や、マンガ などたくさんのお話。 かな文字が使われている。

○3コマまんが風に絵と文でまとめよう。
日本風の文化は現代につながっている。 (ここが分かる(といえる))

今に伝わる「文化」と京都の関わり～ストーリーシート～

名前()

昔(1コマ目: 平安時代の文化)	今(2コマ目: 室町時代の文化)	昔(3コマ目: 今に伝わる文化)と京都の関わり
日本風の文化が生まれる かな文字が生まれ 源氏物語、茶の湯子 というすぐれた随筆が 書かれる。	書院造という現在の 和室(わむろ)ものができる。 また、生け花や静かに お茶を楽しむ風習も 伝ま、ていく。	現在の今に伝わる文化は、 かな文字を、マンガや小説 など色々使われている。 それにお茶を飲む文化は 今に伝わる文化はたくさんある。

○これからの時代にも「今に伝わる『文化』」が伝わっていくためには、誰がどのようなことをすればよいのだろうか。
* 女性を現代風に変えていく。
そうしたら今の友達にも伝えられる。!?